

第9回血液浄化心不全研究会

9th Society for dialysis related heart failure 2019 in Tokyo

2019年12月8日(日) 9:30-16:30

会場 | 東京医科歯科大学 M&Dタワー2F 鈴木章夫記念講堂

住所 | 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 / **Googleマップ** | <https://bit.ly/2yp73Kq>

参加費 | 医師・一般 8,000円 / 看護師・臨床工学技士・理学療法士・栄養士等 4,000円

WEB | <http://hdf-hfts.umin.jp/>

大会長 | 重光秀信 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 生体集中管理学分野 教授)

事務局長 | 鵜川豊世武 (東京医科歯科大学大学院 未来指向型集中治療医学講座 准教授)

プログラム |

09:30-09:35 開会あいさつ 大会長 重光秀信

第1セッション | 透析患者に腎臓リハビリを行おう

09:35-10:35 パネルディスカッション 座長 松永篤彦

『透析患者に対する腎臓リハビリテーションの実践』

山本尚平 先生 (理学療法士 | 北里大学大学院 医療系研究科)

鈴木裕太 先生 (理学療法士 | さがみ循環器クリニック)

河野健一 先生 (理学療法士 | 国際医療福祉大学)

10:45-11:45 特別講演1 座長 宮本哲

『腎臓病の栄養管理—急性期と慢性期—』

森ひろみ 先生 (管理栄養士 | 埼玉医科大学 国際医療センター 栄養部 係長)

横田稚子 先生 (管理栄養士 | 埼玉医科大学 総合医療センター 栄養部 主任)

11:50-12:30 ランチョンセミナー 座長 瀬田公一

『バスキュラーアクセス外来から見てくるBNPの活用とクリアランスギャップを用いたリハビリ介入のポイント』

櫻間教文 先生 (重井医学研究所附属病院 外科 ダイアライシスアクセスセンター)

12:30-13:20 昼食

13:20-14:20 特別講演2 座長 梶島成利

『透析クリニックで腎臓リハビリテーションを実践するには!』

松永篤彦 先生 (北里大学大学院 医療系研究科 教授)

第2セッション | 透析患者の心不全を考えよう

14:30-16:30 シンポジウム 座長 常喜信彦 高橋延行 梶島成利

『透析患者の心臓病』

1. 心臓突然死 | 冷牟田浩人 先生 (九州大学大学院 医学研究院 病態機能内科 腎臓研究室)

2. 心不全 | 佐藤祐二 先生 (宮崎大学 医学部 内科学講座 循環体液制御学分野)

3. 心筋虚血(微小循環) | 大島覚 先生 (医療法人 偕行会 名古屋共立病院 循環器・ASOセンター)

『シャント心負荷とBNP』

鵜川豊世武 先生 (東京医科歯科大学大学院 未来指向型集中治療医学講座)

16:30 次回大会長あいさつ

閉会あいさつ 事務局長 鵜川豊世武



9th Society for dialysis related heart failure 2019 in TOKYO

第9回血液浄化心不全研究会 学術集会

プログラム・抄録集

会期

2019年 12月8日(日)

会場

東京医科歯科大学M&Dタワー 2F
鈴木章夫記念講堂

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

大会長

重光 秀信

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
生体集中管理学分野 教授

第9回血液浄化心不全研究会 開催にあたって

第9回血液浄化心不全研究会

大会長 重光 秀信 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
生体集中管理学分野 教授

第9回血液浄化心不全治療研究会開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

まず、このたびの台風19号により甚大な被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

血液浄化療法は多くの先生方の長年のご尽力によりますます盛んになり、昨今は効果的な治療法として確立されています。特に急性血液浄化療法領域においては種々の持続的血液浄化法が考案され、腎不全のみならず、肝不全、敗血症など多臓器障害への治療法としても広く報告されています。

その一方で、心腎関連病態の概念におきましても、日進月歩進化して、腎不全病態が心不全の温床であることから診断方法と non-renal-indication による導入がより早期の全身管理に有利であると我々は考えている。

本研究会は、急性慢性を問わず腎不全を起因とした心不全病態の診断と治療を主体とし、臨床経験・症例提示、研究項目とこれからの臨床研究の構築の場となることを目的として開催して参りました。2011年に全国の血液浄化療法をおこなうすべての皆様を対象として発足いたしました。今回で第9回を迎えるに当たりまして、多くの皆様から多大なるお力をいただきました。この場をかりて心より御礼申し上げます。

第9回研究会では、ここ数回の主テーマ『透析患者を心不全から離脱させよう』を基本コンセプトに、特に腎臓リハビリテーションに注目して、透析心不全治療のあたらしい治療概念を提示できればと考えています。さらに、今後は重症多臓器不全も対象とした血液浄化療法の在り方について皆様とともに研究して参りたいと考えております。

血液浄化療法の分野において皆様方のたゆみない努力と益々の発展を祈念し挨拶と致します。

研究会参加の皆様へ

1. 受付時間・受付場所

12月8日(日) 8:30～ 東京医科歯科大学 M & D タワー 2F 8 鈴木章夫記念講堂
所定の参加登録書(当日ご用意してあります)にご記入の上、受付までお越しください。

2. 参加登録費

医師、一般 8,000円

看護師、臨床工学技士、理学療法士、栄養士、その他 4,000円です。

登録の際にお渡しするネームカードにご所属、ご氏名を記入の上、会期中会場内では必ず着用してください。なおネームカードの再発行並びに領収書の再発行はいたしませんのでご注意ください。

3. プログラム

受付時に1冊お渡しいたします。追加でご希望の方には1冊1,000円で販売しております。数に限りがありますので在庫がなくなり次第販売は中止いたします。ご容赦ください。

4. ランチョンセミナーについて

鈴木章夫記念講堂は飲食禁止のため、昼食時間を設定致しました。ランチョンセミナー終了後にお弁当をお渡し致しますので、近隣でお食事して頂きますようお願い申し上げます。数に限りがございますので、満席時にご容赦ください。なお、食後のゴミは出入り口で回収致しますので、恐れ入りますがゴミ収集にご協力の程よろしくお願い致します。

5. クローク

クロークの準備は御座いませので、貴重品等の管理は各自でお願い申し上げます。

ご講演・口演演者の方へ

1. PC 発表のみで行います。プロジェクター1面投射といたします。
2. 事務局でご用意する PC は OS：Windows7・Windows 10、
Microsoft PowerPoint2007・2010です。
3. ご発表データは USB メモリーでご持参ください。CD-R やフロッピーでの対応は
致しかねます。音声使用はできませんので、あらかじめご了承ください。
4. お持ち込みも含めて Macintosh の場合は、ご自身の PC をお使いください。
5. また動画をご使用になる方は、念のためにご自分の PC をご使用いただきますよう、
お願いいたします。
6. PC 受付は発表30分前には必ずお済ませください。データは事務局が用意する PC
に一旦コピーいたしますが、ご発表後は大会長が責任を持って消去いたしますので
ご了承ください。

交通のご案内

最寄り駅

■ JR中央線・総武線

御茶ノ水駅下車 御茶ノ水橋口
…………… 徒歩5分

■ 東京メトロ丸ノ内線

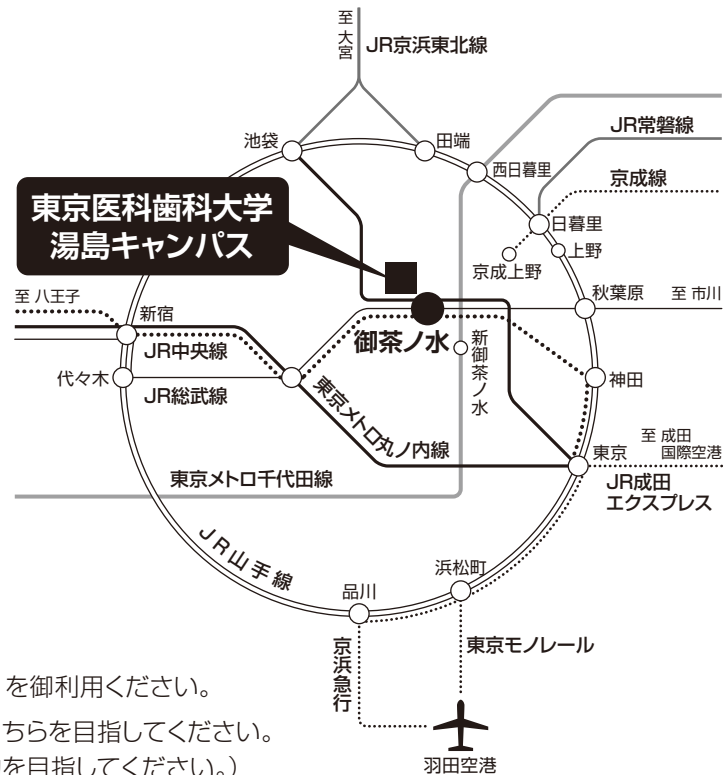
御茶ノ水駅下車 1番出口
…………… 徒歩3分

■ 東京メトロ千代田線

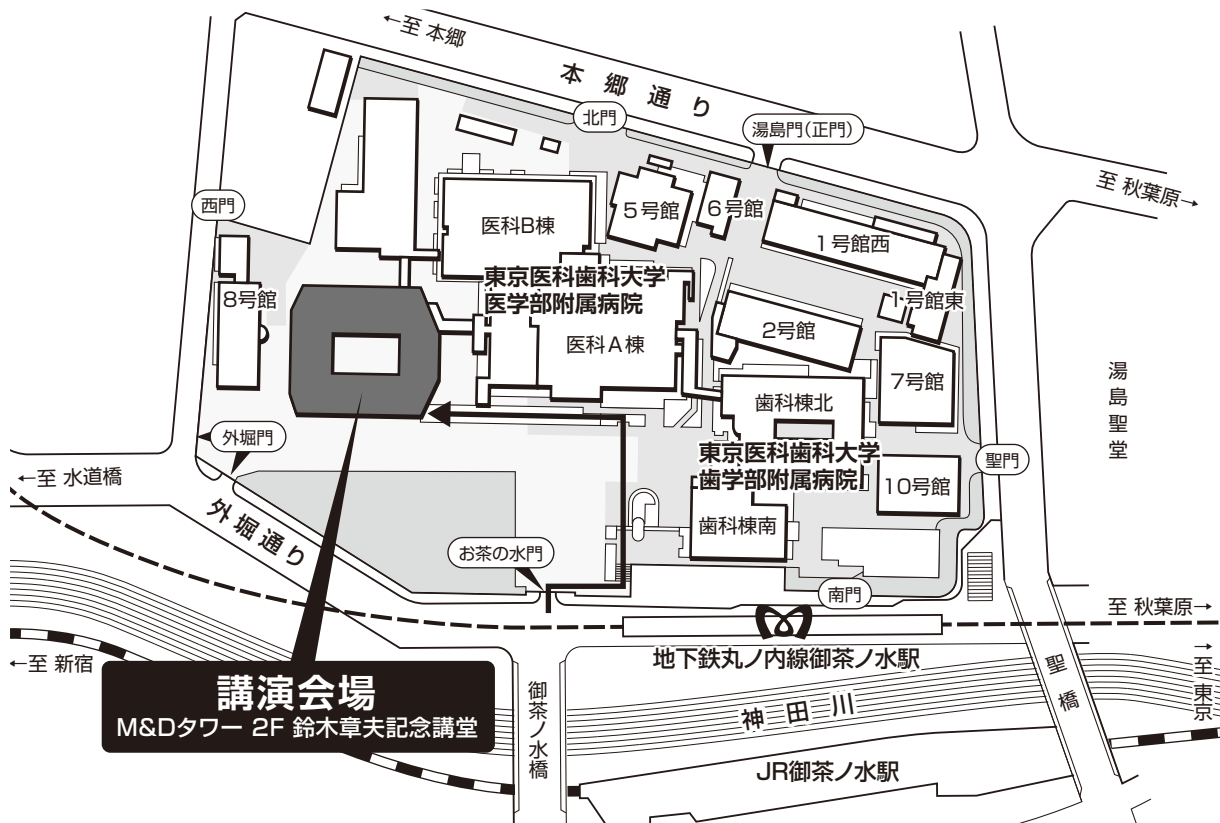
新御茶ノ水駅下車 …… 徒歩7分

■ 都営バス

(東京駅北口ー荒川土手間)
御茶ノ水駅前下車 …… 徒歩7分



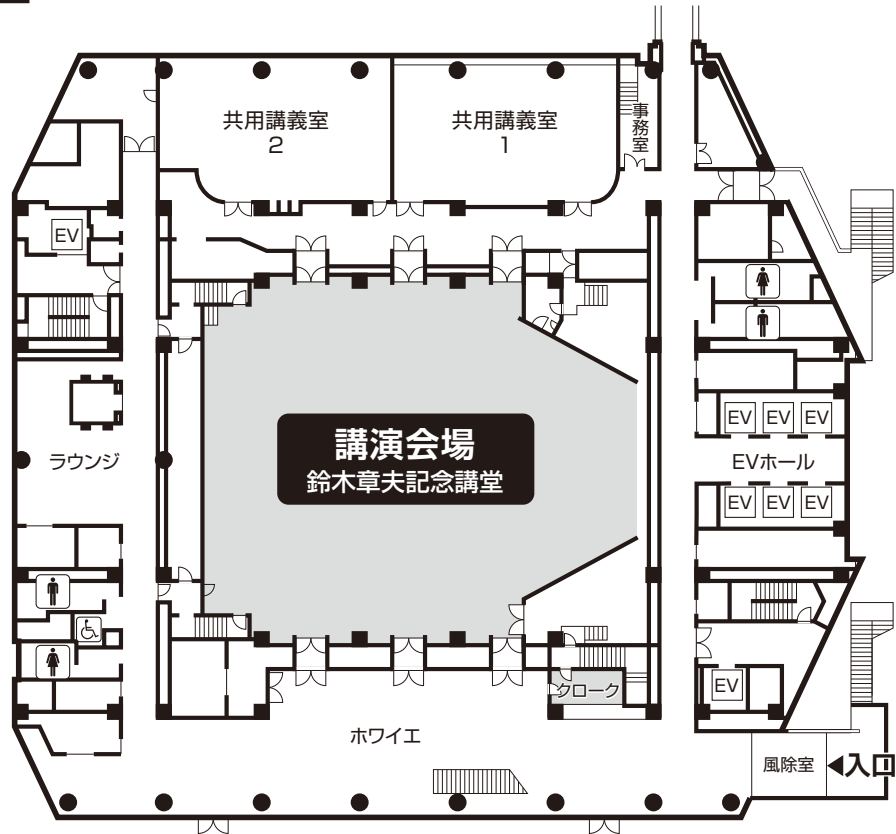
- 現在、正面入り口部分が工事中です。
その左わきの通路（本来は救急車入口部分）を御利用ください。
- 左手にガラス張りの建物がありますので、そちらを目指してください。
（会場へは、病院入口に入らず、左奥の建物を目指してください。）
- 会場は、M&Dタワー正面入り口（2F）より建物に入って、
まっすぐお進み頂いた先にあります。



会場構内図

M&D タワー

2F



第9回血液浄化心不全研究会

プログラム

2019年12月8日(日) 東京医科歯科大学 M&D タワー2F 鈴木章夫記念講堂

9:30～9:35 **開会あいさつ**

大会長：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 生体集中管理学分野 教授 重光 秀信

第1セッション 透析患者に腎臓リハビリを行う

9:35～10:35 **パネルディスカッション**

座長：松永 篤彦 先生

『透析患者に対する腎臓リハビリテーションの実践』

P-1 血液透析患者の身体機能評価の実際

北里大学大学院 医療系研究科 山本 尚平 先生

P-2 血液透析治療時間外に実施する運動療法の効果と実際

さがみ循環器クリニック／北里大学大学院 医療系研究科 鈴木 裕太 先生

P-3 血液透析治療時間内に実施する運動療法の実際と効果

国際医療福祉大学 大学院医療福祉学研究科 河野 健一 先生

10:45～11:45 **特別講演1**

座長：宮本 哲 先生

『腎臓病の栄養管理 ―急性期と慢性期―』

SL1-1 透析心不全患者における急性期栄養管理

埼玉医科大学国際医療センター 栄養部／NST 事務局 森 ひろみ 先生

SL1-2 腎代替療法における慢性期の栄養支援

埼玉医科大学総合医療センター 栄養部 横田 稚子 先生

11:50～12:30 **ランチョンセミナー**

座長：瀬田 公一 先生

『バスキュラーアクセス外来から見えてくる BNP の活用と
クリアランスギャップを用いたリハビリ介入のポイント』

重井医学研究所附属病院 外科 ダイアライシスアクセスセンター 櫻間 教文 先生

12:30～13:20 **昼 食**

13:20～14:20 **特別講演2**

座長：梶島 成利 先生

『透析クリニックで腎臓リハビリテーションを実践するには！』

北里大学大学院 医療系研究科 教授 松永 篤彦 先生

第2セッション 透析患者の心不全を考えよう

14:30～16:30 シンポジウム

座長：常喜 信彦 先生
高橋 延行 先生
梶島 成利 先生

『透析患者の心臓病』

S-1 血液透析患者の突然死の発症率と危険因子の検討 ～ Q コホート研究 10 年予後調査より～

九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学 冷牟田浩人 先生

S-2 慢性維持透析患者における NT-proBNP 濃度の特徴と死亡との関連

宮崎大学医学部附属病院 血液浄化療法部 佐藤 祐二 先生

S-3 血液透析患者の心筋血流 PET によるリスクの層別化と治療課題

名古屋共立病院 循環器内科 大島 覚 先生

『シャント心負荷と BNP』

心拍出量の増加しない動静脈シャント心負荷による心不全病態

東京医科歯科大学大学院 未来指向型集中治療医学講座 鶴川 豊世武 先生

16:30～

次回大会長あいさつ 閉会あいさつ

事務局長：東京医科歯科大学大学院 未来指向型集中治療医学講座 鶴川 豊世武

血液浄化心不全研究会 世話人会名簿

(2019年4月)

顧 問	天野 泉	名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所
代表世話人	小倉 真治	岐阜大学医学部 救急・災害医学分野 教授
世 話 人	尾辻 豊	産業医科大学医学部 循環器・腎臓内科講座 教授
世 話 人	長谷 弘記	東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科 名誉教授
世 話 人	宮田 昭	熊本赤十字病院 副院長
世 話 人	田邊 一明	島根大学医学部 第四内科 教授
世 話 人	伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院 腎臓内科診療教授
世 話 人	瀬田 公一	京都医療センター 腎臓内科医長
世 話 人	相澤 直輝	大浜第一病院 内科科長
世 話 人	松永 篤彦	北里大学大学院医療系研究科 教授
世 話 人	高橋 延行	関西医科大学香里病院 血液浄化療法部 教授
世 話 人	佐野 吉彦	静岡大学学術院工学専攻 准教授
世 話 人	宮本 哲	産業医科大学病院腎センター 講師
世 話 人	本田 理	健軍クリニック
監 事	常喜 信彦	東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科 教授
監 事	桃島 成利	産業医科大学医学部循環器腎臓内科学講座 非常勤講師 ひびきクリニック
事務局長	鵜川豊世武	東京医科歯科大学未来指向型集中治療医学講座 准教授

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dashed lines.

抄 録

血液透析患者の身体機能評価の実際

山本 尚平

北里大学大学院 医療系研究科

医療や透析技術の進展により、透析患者の平均寿命は延伸傾向にある。その一方で、透析人口の増加にともない高齢化が加速しており、フレイルや Protein-energy wasting (PEW) の状態を呈している者の割合は非常に多い。フレイルや PEW の状態は生活の質の低下や、疾病罹患率の増加、死亡率の上昇と強く関連している。透析患者の疾病管理ならびに健康寿命の増進を図る上で、これらの状態を管理することは極めて重要である。

フレイルや PEW (もしくはその予備軍) の状態にある患者をできるだけ早期にスクリーニングし、運動療法等の必要な介入につなげることが理想的であるが、実臨床においてこれらを実践できている透析施設は少ないのが現状である。その要因として、透析施設に専門職 (理学療法士等) がいないことや、これらの状態を診断するための評価手法がわからないこと、そして何より日々の業務の中で身体状態を評価するほどの十分な時間や評価するための場所がないということが挙げられる。本講演では、実際の臨床現場でも短時間かつ場所を選ばずにフレイルや PEW の状態を評価できる評価指標と臨床的に有用な基準値等を紹介する。

また、効果的な疾病管理を展開していくためには、一時点のみならず、定期的にスクリーニングを行う必要がある。我々の施設では半年から1年に一度の頻度で外来透析患者の筋肉量や身体機能、および身体活動量を評価している。これらの定期的な評価から見えてくる経時的な身体状態の変化が予後にもたらす影響等を我々の研究報告や経験を基に言及する。

第9回血液浄化心不全研究会 プログラム・抄録集

大会長：重光 秀信

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
生体集中管理学分野 教授

血液浄化心不全研究会 事務局：

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
未来指向型集中治療医学講座 鶴川 豊世武
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45
TEL：03-5803-5959 FAX：03-5803-0168
E-mail：ugawat.ccm @ tmd.ac.jp
URL：http://hdf-hfts.umin.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>



第9回 血液浄化心不全研究会学術集会 事務局

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
未来指向型集中治療医学講座

事務局長：鶴川 豊世武

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

TEL: 03-5803-5959 FAX: 03-5803-0168

E-mail: ugawat.ccm@tmd.ac.jp